

タウンピックアップ



▲第61回国民体育大会の軟式野球競技が開催された同球場(平成18年10月)

加西球場の新名称が「アラジスタジアム」に決定

加西球場(玉野町)の新しい名称が、4月1日からアラジスタジアムになりました。

スポーツの振興と子どもたちの健全育成に寄与したいと、家電製品を製造する(株)千石と自社製品を販売する日本エアイー(株)(ともに別所町)が市から命名権を購入(3年間200万円)、石油ストーブで有名な自社ブランドの「アラジン」の名が付けられました。

市は、新たな財源により安定した経営基盤を確立するため現在、勤労者体育センター(玉野町)と市民グラウンド(北条町西高室)の命名権も募集しています。

列車転覆事故から66年

旧国鉄北条線(現北条鉄道)の列車転覆事故(乗客11人死亡、62人が重軽傷)のあった現場で3月31日、遺族や当時の乗客ら9人が集い、故人を追悼しました。

事故は昭和20年3月31日、網引駅付近で発生、旧姫路海軍鶏野飛行場(鶏野町)から飛び立った戦闘機が不時着し、線路が変形。直後に通過した列車が転覆する大事故でした。当時は軍の機密として詳しく報じられませんでした。

北条鉄道は、事故現場を通過の際、弔笛を鳴らし、犠牲者の冥福を祈りました。



▲事故発生時刻に近い午後5時ごろ、現場で手を合わせる遺族ら



▲新入団員88名が加わった加西市消防団

平成23年度消防大会

加西市消防大会が4月17日に市民会館文化ホールで開催され、市内12分団から消防団員ら約750名が参加しました。

新入団員への辞令交付、功績のあった方への表彰のほか、火災・救急現場で初期消火・救護活動をされた方々に感謝状が贈られました。

自然災害などに備え、防災体制強化のためにも各町の自主防災組織と行政の一層の連携が求められています。

エコな電動自転車、北条鉄道でレンタル開始

北条鉄道は4月1日から電動自転車のレンタルを開始しました。この自転車は北条町駅のホームの屋根に設置した、ソーラー設備を介して蓄えた電力を利用するもので、化石燃料を一切使わない独立型のクリーンなシステムです。環境に対する市民意識を高めようと、加西市と三洋電機(株)が協働で行う事業です。

電動自転車は、市民や観光客、ビジネスマンへ貸し出されています。



▲1日500円で貸し出しされる北条鉄道の電動自転車

被災地へ応援メッセージ。北条節句祭り

北播磨を代表する春のお祭り「北条節句祭り」が4月2・3日、北条町の住吉神社で盛大に執り行われ、大勢の人で賑わいました。

今年も絢爛豪華な化粧屋台13台が宮入り。市村地区は屋台に「がんばろう!日本」と書いた垂れ幕を掲げ、東日本大震災の被災地復興の願いも込めて境内を練り歩きました。

また、義援金の募金活動も行われ、寄せられた5万3,914円は市を通して被災地に送られます。



▲3台の屋台が同時に差し上がった宮入。観衆の熱気と興奮に包まれました

青年海外協力隊の青田さん来庁

青年海外協力隊員として平成21年から2年間、ブータン王国ティンブー市に派遣され、現地の子供たちにスポーツ指導や日本語教育などを行った青田晋平さん(北条町古坂)が3月29日、加西市を表敬訪問。

教師でもある青田さんは「これからの子供たちを育てるのに、この海外での経験を活かしたい」と力強く語られました。



◀ブータンでの活動を報告する青田さん

ペットボトルの楽器でエコ・コンサート

ペットボトルを加工して作った楽器を演奏する異色の音楽家、糸井健さんを迎えて4月17日、北条町駅の構内でコンサートが開催されました。

身近なところから環境問題を考えようとMORE地球家族(村上尚美代表)が企画。糸井さんは、須磨海岸に漂着したペットボトルで作ったウクレレや三線で、ハワイアンや沖縄音楽を演奏。本物に負けない美しい豊かな音色を奏でました。



▲ペットボトルの三線を演奏する糸井さん(右)。MORE地球家族のメンバーが演奏するカホン(ペルーの楽器)等とコラボレーション



▲生い茂っていた木々を伐採し見晴らしが良くなった山下城跡

山下城跡に住民憩いの場完成

山下町にある16世紀ごろに築かれた山城「山下城」の跡地に、地域住民の憩いの場が整備され、4月16日に現地で完成式典が開かれました。

戦国時代の武将浦上久松の居城とされる山下城は標高約100mの山頂にあります。この旧跡を後世に残そうと、地域住民が昨年11月からボランティアで木々を伐採し、県の補助金も活用して本丸跡には東屋を設置。見晴らしの良くなった城跡は今後、地域のふれあいの場として活用されます。

地域貢献を称え、子育て応援元気アップ賞を受賞

兵庫県が実施する子育て応援元気アップ賞表彰式で3月25日、宇仁郷まちづくり協議会宇仁校区子育て支援センター(黒崎忠彦代表)が受賞。子育て中の保護者が仕事に専念したり、余暇を過ごしたりできるよう、地域における預かり保育の実施が評価されました。

子育て応援元気アップ賞は、子育て家庭への支援等で先進的な取り組みを行っている団体、個人等に贈られます。



▲県公館(神戸市)で井戸知事から表彰状を授与